

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表：令和6年2月1日

事業所名 コペルプラスジュニア 日吉第二 教室

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4	3	0	多すぎることはあまりないが、ヨガ時に兄弟が来ると狭く感じることもあり、今後時間差等工夫の検討を行っていく。
	②	職員の配置数は適切であるか	6	1	0	指導員の配置数は適切であるよう努めている。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	1	5	1	ビルの問題ではあるが、階段が急で危険なため、都度注意喚起を行っている。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	5	2	0	毎レッスンについてカンファレンスにて情報を共有し、PDCA サイクルが回るよう努めている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7	0	0	昨年度実施したアンケートをもとに、改善できる点の一つずつ消化している。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	3	4	0	自己評価の結果は本部の HP にて毎年公表している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	4	3	0	
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7	0	0	社員パート問わず研修に参加できるよう出来るだけの配慮を行っている。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	7	0	0	アセスメントではお子様の様子の把握の他に別途保護者様から細かく聞き取りをしたうえで必要な支援の計画を作成している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	2	0	本部にて共通化されたアセスメントツールを使用して実施している。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	7	0	0	カンファレンスにて情報共有しながらお子様に必要な支援に対するプログラムの立案を行っている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6	1	0	日々のプログラムはもちろん、コミュトレでの制作やゲームは毎月かぶらないように皆で検討している。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4	3	0	平日と休日、長期休暇で利用時間は変わらないものの、コミュトレ等のイベント時には

					季節や学校の状況を踏まえたプログラム設定を行っている。	
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	1	0	お子様の状況を見ながら、個別や集団レッスンの提案をさせて頂いている。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6	1	0	集団レッスン時のメインとサブ等の動きの確認、また事前のカンファレンスにおいて次の支援の内容の確認等を行っている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	7	0	0	カンファレンスにおいて振り返りと情報共有を行っている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7	0	0	カンファレンスにて出た課題を次のレッスンで検証、改善するように心がけている。

	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	7	0	0	適宜モニタリングを行ない、お子様の成長を見た上で計画を見直している。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	5	2	0	ガイドラインに則った活動をもとに様々な刺激をお子様提供できるよう支援を行っている。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5	2	0	担当者会議には事業所を代表して児発管が出席しているが、今後は現場の指導員もあわせて出席できるよう調整を行っていく。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	7	0	0	年間行事予定表を保護者様から共有頂くことや、依頼のあった学校の訪問を行って情報共有をしている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	1	6	0	医療的ケアが必要なお子様がおらず、実績がない。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	2	4	1	個人情報の為、保護者様に間に入ってもらうながら通っていた児童発達支援事業所の情報を共有いただいている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	1	6	0	学校を卒業する年齢の子がまだおらず、実績がない。

との連携	②⑤	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	4	0	参加できる研修は積極的に参加している。
	②⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	1	5	あまり交流を求めている保護者様も多く、慎重に検討をしていく。
	②⑦	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか	3	4	0	予定の調整が出来る時には出来るだけ参加を行っている。
	②⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7	0	0	フィードバックの時間にお子様の様子を細かにお伝えするだけでなく、日常の様子も聞くようにしている。
	②⑨	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	7	0	0	年間計画にて定期的にペアレントトレーニングを行なっている。
保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5	2	0	保護者様に合わせてより細かく具体的な説明が出来るよう心がけている。
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6	1	0	保護者からの相談を親身になって聞くように心がけている。
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	6	1	0	年2回の保護者会の実施をしているが、開催時期は今後も検討を行っていく。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7	0	0	苦情があった場合、児発管が出来るだけすぐに対応するようにしている。
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7	0	0	毎月お便りを発行し保護者に配布している。
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	7	0	0	個人情報には鍵付き書庫にて保管を行っている。
	③⑯	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7	0	0	お子様や保護者様の状況に合わせた情報伝達の配慮を行っている。
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	0	5	2	実施方法については、今後検討を行っていく。
非常時	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	6	1	0	研修を通して職員へマニュアルの周知を行っている。

等 の 対 応	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7	0	0	実際にお子様がいる状況で避難訓練に取り組んでいる。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6	1	0	年間計画において虐待防止の研修を実施している。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	7	0	0	契約時に具体的に保護者様へ説明し、了承を得ている。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	0	5	2	食事の提供機会はない。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7	0	0	ヒヤリハットが発生した際は事業所全員に回覧して周知を行っている。